

週間漁海況情報—第13号

平成24年4月2日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

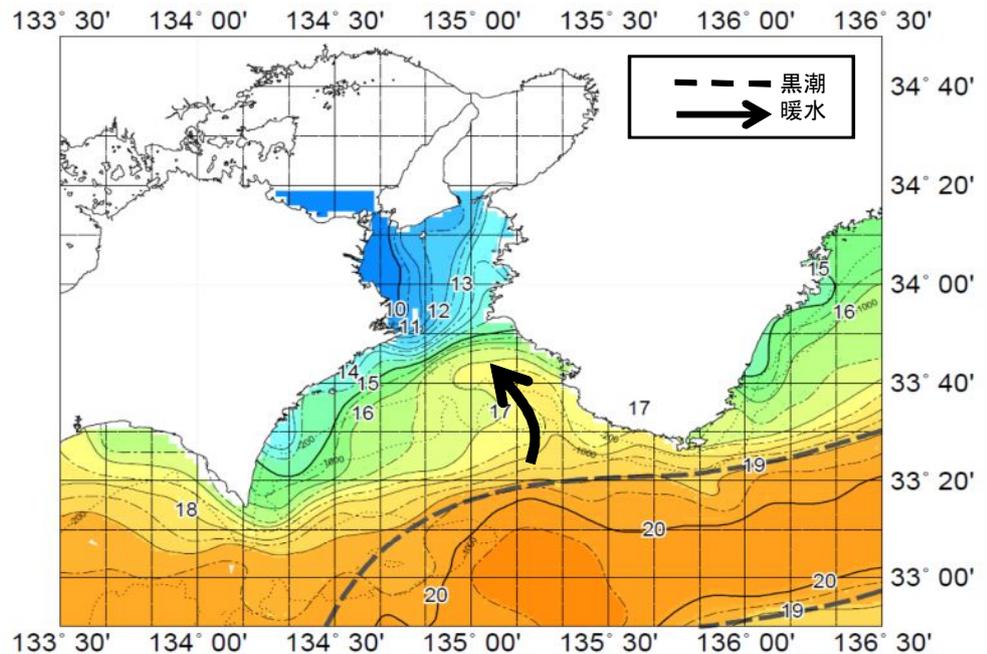
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.4.2）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

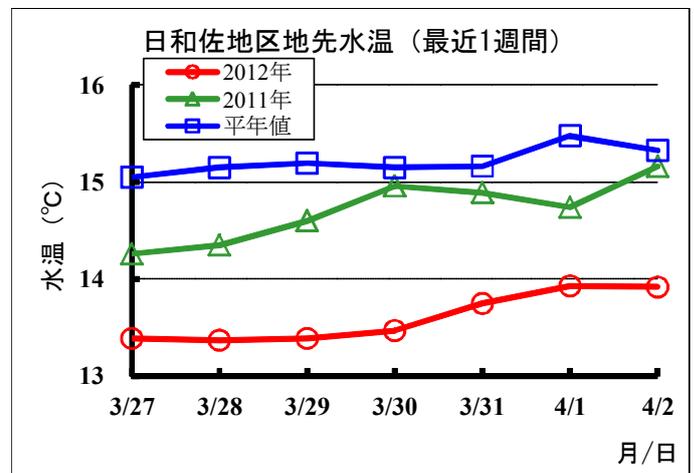
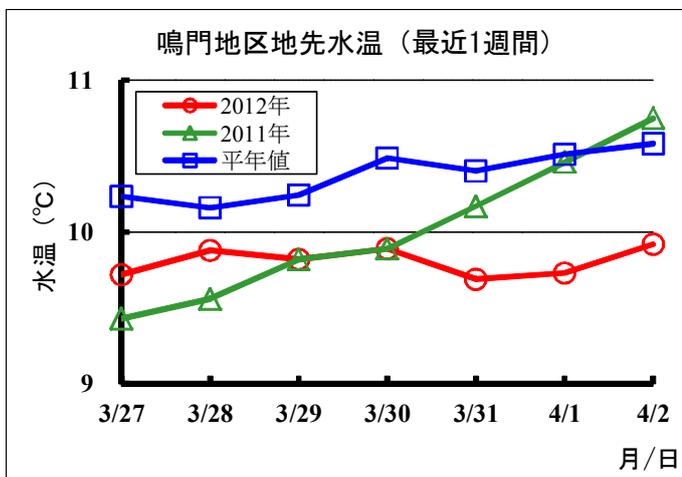
黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では和歌山県沿岸に暖水流入がある。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、高知県に至るまで16℃以下の内海系水に覆われている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「低め」の9.7～9.9℃、日和佐地区で「低め」～「やや低め」の13.4～14.0℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の13.2～14.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大・中主体にキダイが0.3トン（1日1隻当たり13kg）、イトヨリが0.3トン（同12kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、ブリが1.3トン（同188kg）、メジロが0.7トン（同96kg）、いわし類が0.5トン（同75kg）、小・中主体にマサバが0.7トン（同93kg）、小小主体にマアジが0.4トン（同51kg）、中主体にマダイが0.2トン（同35kg）、小主体にスルメイカが0.6トン（同88kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが1.0トン（同36kg）、中主体にアカムツが0.2トン（同10kg）、大主体にタチウオが0.3トン（同44kg）、ハマチが0.2トン（同11kg）、大主体にマアジが0.2トン（同9kg）、大・特大主体にマサバが0.3トン（同13kg）、中・大主体にゴマサバが0.5トン（同22kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン（同20kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 3月26日～4月1日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	25	334	13	大・中主体
		イトヨリ	27	317	12	
大型定置網		ブリ	7	1,313	188	
		メジロ	7	672	96	
		いわし類	7	528	75	
		マサバ	7	650	93	小・中主体
		マアジ	7	354	51	小小主体
		マダイ	7	245	35	中主体
		スルメイカ	7	616	88	小主体
釣り		カツオ	27	966	36	中主体
		アカムツ	21	216	10	中主体
		タチウオ	6	262	44	大主体
	ハマチ	21	237	11		
	マアジ	23	206	9	大主体	
	マサバ	21	271	13	大・特大主体	
	ゴマサバ	22	483	22	中・大主体	
	紀伊水道	タチウオ	17	333	20	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き低水温の内海系水に覆われるものの、室戸岬東側から暖水の波及がある見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先は「低め」～「やや低め」の13～14℃台で推移する見込み。